

〔トーク・ルーム〕

## 第五〇回総会・研究発表会 エピソード・トーク

野坂昭雄

さまにお伝えすべく、登壇者の方々から寄稿いただきました。

(のさか・あきお)

昭和五三年三月発行の『山口国文』創刊号を繙くと、学会彙報欄に、第二回山口大学文理学部国語国文学会が昭和五二年五月一日に開催されたという記録が見えます。それから半世紀経ちますが、滞りなく研究発表会は開催され続け、本年五月一〇日(土)、節目となる五〇回目の総会・研究発表会を山口大学人文学部にて開催することができました。長年にわたり会を支えてくださった皆さまに心より感謝申し上げます。

さて、第五〇回研究発表会では、研究発表に続き、卒業生三名に在学当時のエピソードや現在のお仕事のことなどをお話しいただくイベント「エピソード・トーク」を開催しました。光石亜由美氏(平成五年卒)、古川義郎氏(平成一六年院修了)、栗畑笑莉奈氏(平成三〇年卒)からそれぞれ三〇分程度お話をうかがった後、大田直子氏(平成一五年院修了)と日高友江氏(平成一八年院修了)を司会にトークセッションをおこなうという内容です。会場には在学生を中心に約七〇名が参加、登壇者への質問の時間も設けられ、非常に有意義な会となりました。

今号のトーク・ルームでは、「エピソード・トーク」の雰囲気や皆